

出題のねらい・解答例 〔学校推薦型選抜〕

中村学園大学短期大学部〔食物栄養学科〕

【小論文】

〈出題のねらい〉

本学のアドミッションポリシーでは、入学後の学修に必要な基礎学力を有している人、課題発見の能力がある人を求めている。基礎学力には、教養的知識・技能、語学力や科学的知識を読み取る力が含まれ、小論文では新聞記事と統計データからこれらの能力の評価を行う。設問に関連する英単語、漢字の書き取りや、統計データを用いた問題で基本的な計算力を評価した。また、課題の発見力は、設問の趣旨に沿った内容で自身の考えを明瞭に表現できているか、自由記述から評価した。

（その１）

その１では、これまで養ってきた教養的知識を用いて、近年問題視されてる「食品ロス」に関する記事から、「SDGs」「食糧危機」「食料自給率」「賞味期限」「廃棄量削減」などのキーワード、数字を読み取り、設問に適切に記述できるか主に問う形式とした。

問１は、基本的な漢字および英単語を出題した。

問２は、文章中の数字がどのように変化するのか、読解力を評価した。

問３は、食品ロスについて読み取り、自分自身の考え・意見を述べることを求めている。これまでの教養的知識や、文中のキーワードなどを用いて考察し、分かりやすく文章をまとめる力を評価している。

〈模範解答例〉

問１ (1) 特殊 (2) 自給 (3) 普及 (a) waste (b) global (c) product

問２ C. ２分の１

問３ 評価については、次のことを考慮して総合的に評価した。

１) 示された文字数で、文中のキーワードを用いながら丁寧に記述されているか。

２) 論理的で分かりやすく、自分の考察を明瞭に示しているか。

３) 誤字脱字がなく、正しい表現で記述されているか。

(解答例) 省略

（その２）

資源エネルギー庁発表の「エネルギー需給実績」から、我が国における電力を題材に、基本的な計算力と、データからその背景を読み取る力を評価した。

問１は、合計値と空欄の関係を正しく読み取れるか、計算力を問うものである。

問２～４は、割合の適切な求め方ができるか評価した。また、問２では時事問題に対する情報の感度を、背景の読み取りという形で評価した。

問５では、１つの問題を多面的に捉え、自身の言葉で表現できるか評価した。

〈模範解答例〉

問１ 810億 kWh

問２ 2011年度 9.3%

2012年度 1.5%

東日本大震災による原子力発電所の事故をきっかけに安全性が危ぶまれたから

問３ 76.3%

問４ 13.2%の増加

問５ メリット：CO₂の放出がないため、地球温暖化を抑制することや、燃料の採掘・生成に伴う環境汚染が少ないこと。(46文字)

デメリット：立地が限られた場所になることや、発電量が気象条件に左右され、安定した電源になるのが難しいこと。(47文字)